

# 日医FAX ニュース



日医FAXニュース  
編集・発行：日本医師会 (03-3946-2121)

## ■ コロナ5類移行後「必要な対策講じた」

— 福岡厚労相 —

福岡資麿厚生労働相は10月25日の閣議後会見で、新型コロナウイルスが5類に移行後、厚生労働省の医療提供体制支援や感染対策が適切だったかを問われ、「感染拡大に備えた医療提供体制の確保や、高齢者施設と医療機関との連携体制の確保など、必要な対策を講じてきた」と述べた。

新型コロナは例年冬にかけて感染者の増加が見込まれることから、必要な情報提供や、重症化リスクの高い人を中心としたワクチン接種の検討の呼びかけなどを進める考えを示した。

患者への公費支援を再開することは、「現時点では検討していない」と話した。

### ●マイコプラズマ肺炎等への対策呼びかけ

福岡厚労相は、マイコプラズマ肺炎や手足口病の感染が現在拡大していることにも言及。厚生労働省は自治体・医師会への依頼やネットを通じて、国民への啓発・情報提供などに取り組んでいると説明し、感染防止対策の実施を改めて呼びかけた。 【メディファクス】

## ■ 特定健診・特定保健指導のQ&A集作成

— 厚労省、事務連絡で周知 —

厚生労働省は「特定健康診査・特定保健指導に関するQ&A集」をまとめ、10月25日付の事務連絡で周知した。第4期特定健診・特定保健指導が今年度からスタートしたのに伴い、これまで示してきたQ&Aの内容を整理し、「実績報告」「行動変容の評価」に関する新たな見解を加えて「Q&A集」に仕上げた。疑義が生じた場合に参照するよう案内している。

併せて、キーワード検索などができるように、新たに「Q&A検索ツール」も公開。必要に応じて活用を呼びかけた。

詳細は厚労省ホームページ

([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage\\_35503.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_35503.html))。

事務連絡は「『特定健康診査・特定保健指導に関するQ&A集』について」。

【メディファクス】

## ■ 電カル情報提供、支払基金へ要請可能に

— 厚労省・感染症部会 —

厚生労働省は10月24日の厚生科学審議会・感染症部会で、今後、感染症対策上必要な状況となった場合、厚生労働大臣が社会保険診療報酬支払基金などに対し電子カルテ情報の提供を求めることを可能とする方向性を示した。委員から大きな異論は上がらなかった。

医療DX推進に向けた取り組みの一環。提供された電カル情報を用いた調査研究を、来年4月に発足する国立健康危機管理研究機構(JIHS)に委託することも可能とした。

来年度中の稼働を目指す電カル情報共有サービスに関しては、インターネットを介さず、電カル用端末から感染症サーベイランスシステムに発生届の提出ができる設計とする方針を示した。

従来、ネット接続がない電カル端末は、感染症サーベイランスシステムにアクセスできなかったため、届け出用の端末に情報を再入力する手間があった。サービスが導入されれば、専用回線から直接システムにアクセス可能となる。

委員からは、電カルを導入していない医療機関などへの設備投資や財政支援を求める意見などが出た。 【メディファクス】

## ■ 臨床研修マッチング、内定者9062人

— 大都市部以外は5447人 —

医師臨床研修マッチング協議会は10月24日、2024年度の医師臨床研修マッチング（25年度研修開始）の結果を発表した。希望順位の登録者9868人のうち、今回のマッチングで臨床研修を受ける病院が内定したのは9062人（内定率91.8%）。大都市部のある6都府県（東京、神奈川、愛知、京都、大阪、福岡）以外の41道県の内定者数は5447人で、内定者全体の60.1%と、前年の59.0%から微増した。

第一希望の研修先とマッチしたのは5670人（62.5%）だった。対前年度比で内定者数が増えた上位5県は、▽山口（23年度72人→24年度99人、対前年度比37.5%増）▽大分（53人→70人、32.1%増）▽福井（38人→50人、31.6%増）▽宮崎（47人→57人、21.3%増）▽徳島（37人→44人、18.9%増）▽岐阜（127人→151人、18.9%増）—。

医師臨床研修マッチングは04年、医師の臨床研修義務化に合わせて導入された。臨床研修を受けようとする医学生らと、臨床研修を行う病院の研修プログラムの組み合わせを、双方の希望を踏まえつつ、一定の規則に従って決める。 【メディファクス】

## ■ インフル定点0.73、沖縄11.18

— 10月14～20日 —

厚生労働省は10月25日、2024年第42週（10月14～20日）のインフルエンザの発生状況を公表した。全国の定点当たり報告数は0.73で、前週の0.89を下回った。報告総数は3596人で、前週から795人減った。

都道府県別の定点当たり報告数は、沖縄が11.18で際立っている。次いで鹿児島（1.54）、茨城（1.47）だった。 【メディファクス】

## ■ マイコプラズマ肺炎1.95、「かなり多い」

— 7週連続増、10月7～13日 —

国立感染症研究所は10月25日、感染症週報第41週（10月7～13日）を公表した。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は1.95で、7週連続増加した。過去5年間の同時期の平均と比べて、「かなり多い」状況が続く。

都道府県別で見ると、福井が5.67で最多。次いで愛知（5.00）、京都（4.29）だった。

【メディファクス】

### 【お知らせ】

本日の日医FAXニュースは2ページでの配信となります。ご了承ください。

日本医師会広報課